

学校評議員会の中で…

2月8日(水)、第3回学校評議員会を開催しました。評議員8名(1名欠席)と市教委2名(1名欠席)の計8名の方々にご出席していただくことができました。

本来であれば、授業参観後、学校から今年度の教育活動の説明をし、その後、質問や意見をいただくという流れで行われていました。

今回もこの流れで全く問題はありませんでした。これまでに外部の方との交流の機会を設定することがなかなかできなかったこと、校内の感染状況も落ち着いてきたことから、生徒会メンバー5名に学校の様子・生徒会活動についての発表をお願いしました。

B P発表会や卒業式に向けた準備、先週土曜日までの私立高校入試等、まさに慌ただしい中の隙間の時間を見つけて取り組みました。

統合4年目を迎えた北中の様子、生徒会スローガンについて、今年度の重点となる4つの活動(①プロジェクトf、②アルミ缶回収、③思いやり活動、④北中SDGs)についての説明を分担に従い、それぞれの役割をしっかりと果たすことができました。4つの活動の内容については次の通りです。

①プロジェクトf

地域の方々に自分たちが育てた花とメッセージを添えて、日頃の感謝の思いを伝えるに行った。今年は去年よりも花を届ける場所を増やし、より多くの地域の方々と関わる事ができた。届けた花は、アルミ缶回収で集めた資金を使って購入し、全校生徒で大切に育てたもの。

取組を通して、日頃伝えられない地域の方々への感謝を伝えることができ、地域との繋がりを深めることができたと思う。

②アルミ缶回収

開校当時から行っていたが、今年度はアルミ缶の回収率が大幅に下がった。そのため、アルミ缶回収強化月間をつくり、アルミ缶回収への意識を高めようと考えた。この強化月間は、環境へ配慮する気持ちを高めるため、また来年度の生徒会活動の発展のための活動資金を集めるために実施している。1週間で1人当たり2本以上を目標に取り組んでいる。

③思いやり活動

ひびきあい週間(人権について考える期間)に全校で仲間の良さみつけを行った。活動を通して、仲間の良さや大切さを再認識することができた。また、活動で見つけた仲間の良さを全校で交流し、交流した仲間の良さを自分に取り入れようとする姿もあった。この活動をきっかけにクラスの絆が強まったように感じた。

④北中SDGs

スーパーエコスクールとしての北中ならではの良さを活かし、世界共通の17の開発目標のうち、各委員会から6つをピックアップし、北中としての目標を定めた。【詳細は学校だよりを参照】

この発表後に、学校評議員の一人一人から、ご意見・ご質問をいただきました。

◎とても素晴らしい発表だった。積極的・主体的な取組で溢れ、地域とのつながりを大切にしていることが伝わってきた。

◎自分たちがやってきたことについて、自信をもって語れることが素晴らしい。僕らの力でもっと学校をよくできないかを考えているところが素晴らしい。

このような取組の意味、発表の価値をしっかりと評価して下さったことが、聞いていて嬉しかったです。

さらに、評議員の方からの質問に対して、誠実かつ的確に答えている姿には感心・感動しました。



【学校評議員の方々の前での生徒会発表】